

平成 29 年度 小郡中学校 居場所づくり プラン

PLAN 重点課題と方針

生徒一人一人の適応状況（対人、環境、学習等）を把握し、様々な情報に基づき生徒に接し、生徒指導係、特別支援教育係、教育相談係が連携して対応することで適応感をあげる。

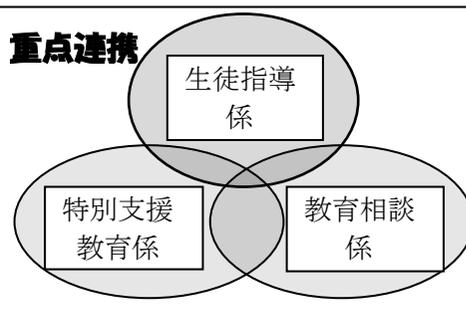
- ★所属感、有用感の醸成（教科、学活・行事等、家庭）
- ◆的確な生徒理解に基づく指導（実態把握、相談体制の充実）
- 規範意識を基盤としたより良い人間関係の構築（生徒間、生徒と教職員）

ACTION

現状把握に基づく対応

- ※即時対応
 - 素早い判断と臨時部会開催による的確な対応
- ※長期対策
 - 課題の明確化と改善策の検討
- ※検討部署
 - ・教育相談連絡会・いじめ対策委員会
 - ・分掌部会 ・生徒指導委員会
 - ・学年部会 ・職員会
 - ・共通理解の会 ・研修会
 - ・校内教育支援委員会
 - ・企画委員会（諸課題対策委員会）

重点連携



CHECK と ACTION の連動

- 共有ファイルの内容を
- ①朝の打ち合わせ会
 - ②生徒指導部会
 - ③重点連携主任の打ち合わせ
 - ④学年主任と学年生徒指導・学年教育相談との連携
- で確実に確認

DO 基本姿勢、具体的取組

【社会で必要とされる能力や態度を育成する】

- ★授業改善プラン、学力向上プランに則り、授業に意欲的に取り組み、協同して学力を伸ばす。
- ★クラス、学年、行事（社会とのつながりプランに則って実施する。）等で一人一役のある場面を設定し、責任を持ってやり遂げさせる。
- ◆各種調査の実施で生徒理解を深めるとともに、早期発見と早期対応に努める。便り・通信の発行、面談等により、助言・支援を行う。
- ◆相談体制を充実し、定期的活動だけでなく、不定期の教育相談を増やす。
- ◆自分自身に悩んだり、人間関係に戸惑いを感じたりしている生徒を支援する。（教育相談係を中心として）
- 厳守（管理）と受容のバランスがとれた対応に努め、生徒と先生の間を良好に保つ。
- 観察、調査によりいじめを早期発見、改善し、生徒間の関係を良好に保つ。
- 社会とのつながりプランの推進により、集団の中で自分の個性を發揮しながら生徒同士の関係を良好に保つ力を獲得させる。
- ★◆○対人関係やコミュニケーション等に悩む生徒に早期に寄り添い、個の特性に応じた的確な支援をする。（特別支援教育係を中心として）

CHECK 現状把握

- ★◆○Fit生活アンケートの分析（5月・11月）
- ★行事後のアンケート調査、作文、希望ノート（生活ノート）の活用、授業改善・学力向上・社会とのつながりプランのCHECKの確認
- ◆振り返りシート（毎週金曜朝）、長期休業あけアンケート（9月・1月・4月）、教育相談アンケートの分析、各種相談記録、共有ファイルの活用
- いじめアンケート1・2（7月・12月・3月）の分析、社会とのつながりプランのCHECKの確認
- ★◆○配慮を要する生徒の各種記録の活用